ほど強いものはない」と

素敵なフランス女性は洗練された上品さをまとっています。 そのエレガントなオーラの源を探りましょう。

必ず自分の香りを持っている

ナミさんに、フランス人と香水の密接な関係についてうかがいました。



教えてくれたのは……

バイヤー Namiさん



調香師 ステファニー・ドゥ・ブルインさん





Stéphanie de Bruijn

上品なオーラを放つ女 考えるのがフランス流

フランス女性の 好きな香りは?

も人気があります。

いるからこそ繊細で、異なるニュ

向けの違いはありますか?

肌にのせて

香りの変化を確認して

うにアドバイスします。そこで嫌







天職について調香師という

- す。 この店にストックされている約400種類の原材料の香りはすべれているので、で頭にインプットされているので、幾通りもの組み合わせを考えなが
- S フランスでは代々調香師の家系とどうして調香師の道を選ばれたのどうして調香師の道を選ばれたのどうして調香師の道を選ばれたの
- と夢見ていたのです。と夢見ていたのですが、私は南仏いう人が多いのですが、私は南仏のカンヌ出身で普通の家庭でした。のカンヌ出身で普通の家庭でした。
- 香師500人が参加する国際香水と、2001年に世界中の若手調グラースで8年間調香を学んだあ



、 優勝することができましシナル香水を作るという課題にシール香水を作るという課題に

暫と夜の

- ナソメグなどのスパイスをミド・水にするのは意外と難しそう。
- 今も取り扱っています。 「Poignée d'amour」という香水で、ノートのラベンダーに加えたナツメグなどのスパイスをミドル
- にいい? 向がありますが、朝と夜にそれぞれおすすめの香水を選ぶとすると
- でに向いているのではないでしょうの甘くさわやかな香りで、朝に ラの甘くさわやかな香りで、朝に ラの甘くさわやかな香りで、朝に ラの甘くさわやかな香りで、朝に ラの甘くさわやかな香りで、朝に

ステファニー・ドゥ・ブルインのオーダー香水ができるまで







000000000000 00000000000 00000000000







ゼロからオリジナルを作るオートクチュール香水(800€)と、既存のコレクションに好きな香りを1つだけ追加するセミオーダー(208,33€)があります。オートクチュールの場合も、まず店にある香水から好みの一品を選ぶことで方向性を決めます。店内の引き出しには400種類の原材料がアルファベット順に収納されているので、そこから提案していきます。その場で試す香りは10種類まで。聞き取った内容をメモしながら配合を考え、ラボで計量してサンプルを調合。感想を聞きながら微調整します。最後にフォーミュラが確定したら、注文の約一週間後に完成します。

*完成品は来店するか、郵送で受け渡し

知っておきたい香水の6つの知識

季節によって香水を変える?



ステファニーさんによれば「ほとんどのフランス女性は、夏と冬で香りを変えたり、朝と夜で別の香水をつけたりしています」。 気温や湿度などによって、そのときの自分に馴染む 香水を使い分けることができれば、季月の上級者です

「フランスの香水の本場は?」



南仏グラースは中世から続く香水の都。ラベンダーやバラなど地元の植物だけでなく、世界中から集まる香料植物が原料のアブソリュートに抽出・加工されるノウハウもこの地に蓄積されているから、世界的な調季師も多く輩出しています。

「最近人気の香りは?



ユニセックスをうたう香水が増え「オリエンタルな沈香(ウード) やウッディ系のマスキュリンな香りも最近は女性に人気です」。フルーツやバニラが子どもの頃に食べたスイーツを 想起させる「グルマン」な香りも最近のトレンド

_ 体のどこにつける?



よく知られているのは手首で、プロの調香師もここで香りを テストします。「首や耳の後ろ、髪の毛などにつけてもよい のですが、日光が香水に直接当たると、シミなどができるこ ともあるので注意して」とステファニーさん

「ベストなつけるタイミングは?



朝のシャワー後はもちろん、夜のお出かけ前には日中よりも 濃厚でセクシーな香水をつけるのが、フランス女性の流儀。 ベッドに入り眠る前に好きな香りを一吹きして身にまとうマ リリン・チンロー式をたらうマダムも小たくたいそう

「フランス女性の定番の香水は?」



フランスマダムに愛用の香水を聞くと、高確率でシャネル。 とくにNo.5が人気ですが、COCOやCRISTALLEを若い頃から ずっとリピートしている人も。伝説の香水ゲランのMitsouko も今なお高い支持を受けているようです





写真上_パリにアトリエを持つ数少ないクラフトソープのブランド「Le Baigneur」で、創業者のファビアンが毎日ここで手作りしています。石鹸作りのワークショップもあるんですよ 写真左_固形シャンプーやオイルなどもあって自然な香りが気に入っています。デザインも素敵ないで、贈り物にすることも多いです

Namiさんのおすすめショップ ルベヌール

Le Baigneur

5 rue de la Folie Méricourt, 75011 Pari https://www.lebaigneur.fr/ インスタグラム @lebaigneur バイヤーの ナミさんに聞く/

フランスの香水の魅力

私の仕事は、フランスのフレグランス商品のバイヤーとして新規開拓や商品開発に関わりながら、最近はパリの最新トレンドをインスタライブなどで発信することです。お気に入りの香りは、トップノートがフレッシュで最後に個性が際立つ、「ミレー・エ・ベルトー」の「スタディ#17」など。自宅では常に3~4種類の香水を並べておき、季節やシチュエーションによって使い分けています。

バスタイムも必ずバスソルトやバスオイルを使用して、常に香りとともに過ごします。 フランス人は香りを通して自己を表現する傾向がある一方、日本人の香水の楽しみ方は控えめ。まるで香りに気づかれないようにまとっている印象ですが、それぞれに美しさがあって、私はどちらのアプローチも大好きです。

Namiさんおすすめのフランス発の香水

Lothantique ミレー・エ・ベルトー #17 Study オー・ド・パルファン 友人でもあるミレーとベルトー、2人のクリエーターが生み出す世界がとにかく大好き。これは彼らの旅行先の思い出を詰め込んださわやかな香りで、今一番のお気に入り



THE thé ブラック・ティー オー・ド・トワレ 心地よいティーレフレーバーのシリーズ。このフラックティーは、ベースノートのパチュリーとオワイトムスクの程よいもさが気に入っています



DURANCE
ロメシリーズ
オー・ド・トワレ
ベティベール・ゼスト
さわやかななかにテロワールを感じさせる落ち着
いた香り。男性向けのブレゼントにしていたのがいつの間にか自分でも愛用するようになりました





Lothantique ミレー・エ・ベルトー #1 for you オー・ド・パルファン フローラルからスパイシーな香りへの移り変わり がとても好み。作り手の 2人からは、長年の交流 を通して香水の奥深さや 世界観など多くのことを 学びました



クラシックシリーズ ペシェ オー・ド・パルファン 軽やかで甘さも感じられ るピーチの香りが好き。 ミニサイズもあるので、 バッグに忍ばせて夜のお 出かけのときによくつけ ています



DURANCE スパークリング・ヴェルヴェーヌ オー・ド・パルファン 南仏の別荘に必ず置いています。庭のハーブのフレッシュさをそのまま閉じ込めたようなグリーン系の香りで、朝につけると気持ちが良いです